



計画提出日： 令和 年 月 日

実績提出日： 令和 年 月 日

記載上の注意点	
○	取組計画は、毎年度、栽培開始前に所属する農業者団体へ提出してください。
○	取組実績の提出は、生産記録にその全てを記載してある場合、省略してください。 (有機JASの認定又は県特別栽培農産物の認証を受け、生産記録の添付を省略する場合は、本様式の提出が必要)

農業者団体等の名称	小千谷市環境保全型農業協議会		
取組農業者 (組織の場合、構成員氏名)	住所	小千谷市城内2丁目7番5号	
	氏名	新潟 太郎	
国際水準GAPの 認証取得状況	<input checked="" type="checkbox"/> 認証なし (GAP指導員等による指導や研修を受けたことを証明する書類とみどりのチェックシートを提出する)		
	<input type="checkbox"/> 有り (取得している認証又は認証取得に向けて指導を受けつつ農業生産工程管理の取組を実施していることがわかる書類の写しを提出する)		
	取得認証	<input type="checkbox"/> GLOBALG. A. P. <input type="checkbox"/> ASIAGAP <input type="checkbox"/> JGAP 2016	

- ※ 取組農業者(構成員)ごとに1枚作成してください。
- ※ 主作物が複数ある場合は、主作物ごとに作成してください。
- ※ 認証取得している場合は、「有り」をでチェックし、該当する認証の名称にもでチェックをしてください。
(取得認証欄の認証を受けていない場合は、全て「なし」にチェックしてください。)

1 申請状況 ※申請する取組の「申請の有無」欄に「○」を記入してください。

(1) 全国共通取組

対象活動名	申請の有無※		対象活動名	申請の有無※	
	計画	実績		計画	実績
カバークropp			秋耕	○	○
炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用(堆肥の施用)	○	○	有機農業		
リビングマルチ			有機JAS	○	○
草生栽培			上記以外 (※有機JASの認定を受けない場合もある場合も含む)	○	○
不耕起播種			取組拡大加算 (有機農業の取組の拡大に向けた活動)		
長期中干し	○	○			

(2) 地域特認取組

対象活動名	申請の有無※		対象活動名	申請の有無※	
	計画	実績		計画	実績
冬期湛水管理	○	○	炭の投入		
江の設置	○	○	総合的病害虫・雑草管理(IPM)と組み合わせた畦畔除草及び秋		

2 有機農業の実施実績

※作物毎に記載してください。

主作物名 (水稻)	計画	実績
栽培する地域における主作物の地域慣行基準の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
農産物の生産過程等における節減対象農薬及び化学肥料の使用		
種子及び苗等の定植前の作物に対する使用 備考 ()	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有
ほ場及び定植後の作物(収穫後の調整含む)に対する使用 備考 ()	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有
使用禁止資材の使用	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有
使用禁止資材の飛来・流入防止措置	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
遺伝子組換え技術の利用	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有	<input checked="" type="radio"/> 無 ・ 有
放射線照射	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
有機JAS認証の有無 (認証機関名: 〇〇有機の会)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
有機JAS認証以外の場合、使用する資材の資材証明書 注)有機JAS認証を受けていない場合、必ず提出してください。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> ー	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> ー
炭素貯留効果の高い有機農業の実施 (加算措置の適用)	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
土壌診断の実施	有 ・ 無	有 ・ 無
有機農業と併せて実施する取組	<input type="checkbox"/> 堆肥の施用	<input type="checkbox"/> 堆肥の施用
	<input type="checkbox"/> カバークロップ	<input type="checkbox"/> カバークロップ
	<input type="checkbox"/> リビングマルチ	<input type="checkbox"/> リビングマルチ
	<input type="checkbox"/> 草生栽培	<input type="checkbox"/> 草生栽培
取組拡大加算 (有機農業の取組の拡大に向けた活動)	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 該当欄の「有・無」いずれかに「○」を記入してください。

※ 欄が不足する場合は、適宜変更してください。

※ 有機栽培の取組のうち、有機JASの認定を受けない場合、使用予定資材の証明書等の写し(有機JAS規格の別表1及び別表2の肥料・農薬の使用基準を満たしていることを証明する書類)を生産記録に添付して提出してください。

なお、農産物の生産過程において、有機農産物の日本農林規格の別表1の肥料及び別表2の農薬以外の資材を使用された場合は、支援対象となりません。

※ 炭素貯留効果の高い有機農業を実施(加算措置適用)する場合は、土壌診断の実施と併せて堆肥施用・カバークロップ・リビングマルチ・草生栽培のいずれかの実施が必要です。(併せて実施する取組欄に☑を記載して下さい。)

3 炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用(堆肥の施用)の実施実績

主作物名	水稻				
	施用する堆肥の名称 (種類) ※	堆肥の入手先	堆肥の施用 年月日	施用量 (kg/10a)	交付単価 (10a当) ※
計画	牛糞もみ殻堆肥	C/N比	堆肥センター	令和〇年9月30日	900
		19.7			
実績	牛糞もみ殻堆肥	C/N比	堆肥センター	令和〇年10月3日	915
		23.4			
					<input checked="" type="checkbox"/> 4,400円 <input type="checkbox"/> 2,200円
					<input checked="" type="checkbox"/> 4,400円 <input type="checkbox"/> 2,200円

※ 施用する堆肥の具体的な種類(牛ふん堆肥、豚ふん+もみがら堆肥等)及び名称を記載してください。

※ 欄が不足する場合は、適宜変更してください。

※ 実施計画を提出する際、施肥管理計画、堆肥の成分分析結果及び土壌診断結果を添付してください。

※ 交付単価(国と地方公共団体の合計額)の欄は、該当する金額に、■または☑を記入してください。

4 不耕起播種の実施実績

主作物名	<input type="checkbox"/> 麦 <input type="checkbox"/> 大豆			
実施項目		計画 (月日)	実績 (月日)	備考
除草剤散布 (茎葉処理型) ※				
専用播種機による播種 ※				

- ※ 主作物名は麦(小麦・二条大麦・六条大麦・はだか麦)又は大豆のいずれかに☑を記入してください。
- ※ 茎葉処理型の除草剤は、播種前に散布してください。
- ※ 専用播種機(乗用管理専用機又はトラクターに装着した専用のアタッチメント)による播種は、前作の畝を利用し、畝の播種部分のみを耕起して行ってください。

5 長期中干しの実施実績

主作物名	水稻			
実施項目		計画 (月日)	実績 (月日)	備考
溝切りの実施 (10アールあたり1本) ※		令和〇年6月10日	令和〇年6月9日	
中干し ※		開始 6月15日 終了 6月30日	開始 6月13日 終了 6月29日	

- ※ 溝切りは必ず10アールあたり1本以上実施してください。(未実施の場合は支援の対象となりません。)
- ※ 中干しは、稲の生育中期に溝切りを実施した上で連続して14日以上行ってください。

6 秋耕の実施実績

主作物名	水稻			
実施項目		計画 (月日)	実績 (月日)	備考
収穫後の耕うん (秋耕) ※		令和5年10月5日	令和5年10月3日	
翌春の水稻作付 (湛水) ※		令和6年5月10日	令和6年5月12日	

- ※ 耕うんは耕深5cm程度を目安に、湛水の4か月以上前に実施してください。
- ※ 秋の耕うん実施後、翌春に水稻の作付を行わない場合は支援の対象となりません。

7 カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培の実施実績

主作物名					対象活動※1	
作物名 ※2	標準播種量 (kg/10a)	播種量 (kg/10a)	播種 年月日	農地還元 (すき込み) 年月日	栽培期間 (日) ※4	交付単価 (円/10a)
品種:		計画			0 日	<input checked="" type="checkbox"/> カバークロップ (6,000円/10a) <input type="checkbox"/> リビングマルチ (5,400円/10a) <input type="checkbox"/> リビングマルチ (小麦・大麦・イネ アンタイクラス) (3,200円/10a) <input type="checkbox"/> 草生栽培 (5,000円/10a)
						実績

- ※1 対象活動の欄は、取組名(カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培)を記入してください。
- ※2 作物名の欄は、取り組みに用いる作物(例:エンバク、レンゲ、ひえ等)と品種名をカタログ等から転記してください。
- ※3 標準播種量の欄は、カタログや都道府県の栽培技術指針等で示されている播種量を記載してください。
また、実施状況報告において、標準播種量を証明するカタログ等の写しを添付してください。
(播種量は、標準播種量以上を播種していないと、支援対象となりません)
- ※4 栽培期間の欄は、播種から農地還元までの期間を記入してください。
○ 栽培期間 ・春夏播きの場合:概ね2ヶ月以上 ・秋冬播きの場合:概ね4ヶ月以上
※ 栽培期間について、県指針等で短い期間が定められている場合、その根拠資料を提出してください。

8 江の設置の実施実績

作溝作業の実施状況※1	<input checked="" type="checkbox"/> 実施した 又は、栽培期間中に実施予定	
	実施日	令和〇年4月5日
作業内容	<input type="checkbox"/> 江の新設))))
	<input checked="" type="checkbox"/> 江の延長 5m延長	
	<input checked="" type="checkbox"/> 江の補修 水深や水面幅確保のための泥上げ作業	
	<input type="checkbox"/> その他 ()	
<input type="checkbox"/> 実施しない (江の設置時期: 年 月頃)		
江の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 江の長さ、水面幅、深さがわかる設置図等 (任意様式) を添付	
	計画	実績
江の設置期間 (年月日)	RO.6.10 ~ RO.8.20	RO.6.13 ~ RO.8.30
定期的な水位管理 (ほ場巡回の頻度)	約5日毎のほ場巡回で水位確認	約5日毎のほ場巡回で水位確認
江の設置箇所への除草剤の使用※2 (本田内の除草剤使用を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用無し ・ <input type="checkbox"/> 使用有り	<input checked="" type="checkbox"/> 使用無し ・ <input type="checkbox"/> 使用有り
交付単価 (円/10a)	<input checked="" type="checkbox"/> 本年作に係る作溝作業の実施あり (4,000円/10a)	
	<input type="checkbox"/> 作溝作業の実施なし (3,000円/10a)	

※1 取組計画の提出時に本年度の作付前に実施した作溝作業の実施年月日及び作業内容を記載してください。

注 作溝作業:江の設置、延長、補修(水深や水面幅確保のための泥上作業等を含む)を目的として行われる作溝にかかる作

※2 江の設置箇所への除草剤の使用については、該当欄をでチェックしてください。

※3 江の設置に取り組む場合は、申請者の代表的なほ場で生きもの調査を1回以上実施してください。

9 炭の投入の実施実績

主作物名	施用する炭の名称 (種類) ※1	炭の入手先	炭の施用年月日	施用量 ※2
計画				リットル/10a
				kg/10a
実績				リットル/10a
				kg/10a

※1 施用する炭の具体的な種類(木炭、竹炭、籾殻くん炭等)及び名称を記載してください。

※2 施用量はリットルまたはkgのいずれかで記載してください。

10 総合的病害虫・雑草管理 (IPM) と組み合わせた畦畔除草及び秋耕の実施実績

主作物名	実施項目	計画 (月日)	実績 (月日)	備考
	畦畔除草 ※1			
		年 月 日	年 月 日	
	収穫後の耕うん (秋耕) ※2			
	翌春の水稲作付 (湛水) ※3			

※1 畦畔除草は、水稲生育期間中に除草剤を使用せず、草刈機等を使用して、3回以上行ってください。

※2 耕うんは耕深5cm程度を目安に、湛水の4か月以上前に実施してください。

※3 秋の耕うん実施後、翌春に水稲の作付を行わない場合は支援の対象となりません。

11 冬期湛水管理における適切な取水措置、漏水防止措置の実施実績〔冬期湛水に限る〕

項目	実施内容		計画 (月日)	実績 (月日)
適切な 取水措置	地下水等のくみあげ			
	排水路の水をくみ上げ			
	水権利のある農業用水からの取水		RO.10.5	RO.10.8
	その他 ()			
畦補強等による 漏水防止措置	湛水開始前の畦塗り		RO.10.5	RO.10.3
	畦畔シートによる被覆			
	秋代かき		RO.10.10	RO.10.8
	定期的な ほ場巡回による畦畔等の補修		ほ場巡回時	RO.11.11
定期的な 点検活動 (湛水深の確保)	定期的な ほ場巡回による水位の確認・取水による水深の確保	期間	10/5~12/10	10/8~12/10
		頻度	約5日ごと	約5日ごと
冬期湛水 の期間	始期 (必要な湛水深を確保した時点)		RO.10.10	RO.10.8
	終期		RO.12.10	RO.12.10
	湛水期間 (日)		61日	63日
有機質肥料 の施用 湛水直前又は湛水 期間中のものに 限って記載ください	計画	肥料名(特製牛ふんペレット) 購入金額@ 850 円/袋× 3.5 袋/10a = 2,975 円/10a	10月	
	実績	肥料名() 購入金額@ 円/袋× 袋/10a = 円/10a		無し
地域の合意等	地域全体での合意		有・無	—
	ほ場隣接農業者の了解		有・無	—
交付単価	A 有機質肥料の購入・投入実態あり、かつ、畦補強等の実施あり		<input checked="" type="checkbox"/> (8,000円/10a)	<input type="checkbox"/> (8,000円/10a)
	B 有機質肥料の購入・投入実態あり 畦補強等の実施なし		<input type="checkbox"/> (7,000円/10a)	<input type="checkbox"/> (7,000円/10a)
	C 有機質肥料の購入・投入実態なし 畦補強等の実施あり		<input type="checkbox"/> (5,000円/10a)	<input checked="" type="checkbox"/> (5,000円/10a)
	D 有機質肥料の購入・投入及び畦補強等 が共がない		<input type="checkbox"/> (4,000円/10a)	<input type="checkbox"/> (4,000円/10a)

※ 各項目について、実施する又は実施した取組について記入してください。

(冬期湛水管理の同意状況欄は有・無のいずれかに「○」を記入する。)

※ 冬期湛水管理は、市町村の計画に即して実施しなければなりません。

※ 冬期湛水の期間は、2ヶ月以上(61日以上)の湛水期間が必要です。

※ 実施状況報告において、取組ほ場の実績をまとめて記載することにより、2か月間の湛水期間が書面上で確認できない場合は、別紙(様式任意)を作成し、ほ場ごとに報告してください。

		畦補強等の実施	
		あり	なし
有機質 肥料の 購入・ 投入	あり	A 8,000円/10a	B 7,000円/10a
	なし	C 5,000円/10a	D 4,000円/10a

※ 畦補強等とは、本年度実施した湛水状態維持のための漏水防止措置

※ 有機質肥料の購入・投入の「あり」は、次の全てを満たす場合該当

有機質肥料のみを原料とした肥料であること

取組直前又は取組み期間中に投入すること

(主作物の栽培期間中の施用でないこと)

購入金額が3千円/10a以上であること

12 生きもの調査を実施する場合はその実績

【必須：江の設置】

	計画	実績
生きもの調査 実施年月日	令和〇年7月	令和〇年7月25日
主な調査対象の 生きもの	・水田 魚、カエル、昆虫、ザリガ ニ など ・畦畔 カエル、昆虫、ヘビ など ・周辺 鳥類、昆虫類 など	「田んぼの生きもの調査記録」のとおり※

※ 生きもの調査は、「環境保全型農業直接支援事業における生きもの調査の実施について」を参考に、実施してください。

※ 地域特認取組「江の設置」に取り組む場合は、必ず記入してください。

※ 実施状況報告において、原則として取組農業者が調査した生きもの調査記録を添付してください。